タイビン省での家庭訪問

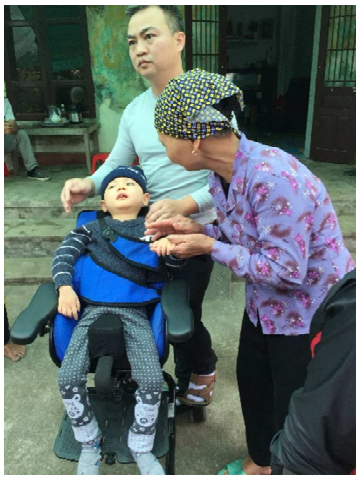
今回は 2 か所目の贈呈式開催地であるタイビン省で贈呈式後に 2 つの家庭訪問を行った。赤十字本部メンバーの時間が厳しく、短時間での訪問となった。

○5 歳の女児

・出生時の酸欠が原因で脳性麻痺になったとのこと。自分で食事をとることはできない。
　ミルクなどを家族が与える。お姉さん（13 歳）がいる。
・お父さんは40歳で、自分で営業の仕事を行っている。
・お母さんは 33 歳である。現在 3 番目の子どもがおなかにいる

家族が住んでいる家の外観

○4歳の男児



・脳性麻痺である。
・お父さんはタイビン省の警察官（40 歳）
・お母さんは学校の先生。二人とも働いているので収入は多い方だが、その割には生活が厳しい。この子の治療などに多くの費用が掛かるとのこと。

以上